

## 小学校の模擬授業とワークショップ 2019-2020

学年: 3年生      長さ: 10分～15分<sup>1</sup>

教科書: Let's Try! 1<sup>2,3</sup>; 単元: Unit 4 – I like blue.<sup>4</sup>

**T1:** 担任先生<sup>5</sup> **T2/ALT:** 指導助手<sup>5</sup> **S:** 生徒

活動	時間	感想
<p>挨拶<sup>6</sup></p> <p><b>T1&amp;T2:</b> Please stand up. Good morning everyone!  <b>S:</b> Good morning!  <b>T1&amp;T2:</b> How are you today?  <b>S:</b> I'm ~. How are you?  <b>T1&amp;T2:</b> I'm ~, thank you. Let's do the daily questions!                      (Weather, day of the week, date, etc.)  <b>T1&amp;T2:</b> Okay, let's start!  <b>S:</b> YAY!  <b>T1&amp;T2:</b> Please sit down. Today we will be reviewing sports!  <b>S:</b> YAY!</p>	1-2分.	
<p>復習: スポーツ<sup>7</sup></p> <p><b>T2</b> が <b>S</b> とスポーツの復習をします。</p>	1-2分	
<p>ジェスチャーゲーム</p> <p><b>T1&amp;T2</b> がデモをします。</p>	3分	
<p>復習: <b>Key Sentence</b> (基本文)<sup>7</sup></p> <p>レッスン5の基本文を練習します:</p> <p><b>Q:</b> "Do you like ~?"  <b>A:</b> "Yes, I do." / "No, I don't."</p> <p><b>T1</b> が疑問文を言います。  <b>T2</b> が答えをいいます。</p>	3分	
<p><b>OX (マルバツ) クイズ</b></p> <p><b>T1&amp;T2</b> がデモをします。</p> <p><b>T2</b> がもう一度 <b>S</b> と基本文を確認します。</p> <p><b>T2</b> が一人の生徒を選び、前でスポーツのカードを渡します。</p> <p><b>T1</b> は生徒が <b>O</b> か <b>X</b> かを選んだか確認します。それから生徒たちが "Do you like~?" を選ばれた生徒に尋ねます。</p> <p>選ばれた生徒が答えます: "Yes, I do." Or "No, I don't."</p>	3分	
<p>まとめ</p>	2分	

## 補足

\*小学校向きの活動ですが中学校でも利用できます!

- 1 学校の授業はもっと長いですが、話し合う時間を作るためにこの模擬レッスンを短くしました。
- 2 全ての小学校は“Let's Try!”を使っているとは限りません。
- 3 教科書を使っていない学年もあるでしょう。低学年はほとんど教科書がなく、中学年が“Let's Try!”そして高学年が“We Can!”と“Hi! Friends”を使っているところが多いです。
- 4 日本の学年は4月に始まるのでALTがたいてい2学期の直前に来日します。
- 5 学校によってALTの役割が異なることがあります。ALTがT1の役をすることがありますし、T2の役をすることがあります。
- 6 授業の始めと終わりの挨拶もクラスによって違います。
- 7 この模擬授業にある復習時間が短い方です。単元の最初の授業の場合、新しい単語や基本文の練習をもっとするといいいでしょう。

### ゲームのルール:

#### ジェスチャーゲーム:

- 生徒がジェスチャーをしながら単語を練習します。
- ALTが単語を言った後に生徒がジェスチャーをします。またALTがジェスチャーをした後に生徒が単語を言います。
- 前でジェスチャーをしてくれる生徒を何人か選びます。
- 見ている生徒がジェスチャー単語を当てます。(手をあげて)
- 繰り返します。

#### マルバツクイズ:

- 先生がマルとバツのカードを黒板の右と左側に貼ります。
- 一人の生徒を選んで、前に来て単語カードを渡します。
- 残りの生徒たちがカードを持っている人がその物が好きかどうか当てます。好きだと思った生徒がマルの方に行きます。好きじゃないと思った生徒がバツの方に移動します。
- みんなで“Do you like~?”を訪ねます。
- 前にいる生徒が答えます: “Yes, I do” or “No, I don't.” 当たった生徒が勝ち。
- 繰り返します。

## コツ

- どんな活動がうまくいくかクラスによって違います。自分が教えているクラスはどうですか？よくある問題は？
- 計画した活動が全部終わったあとに時間が余る場合もあります。すぐできるゲームや活動をいくつか考えておくといいでしょう。
- 生徒たちがある活動に飽きているようでしたら、早めに次の活動に進んだ方がいいかもしれません。
- 新しい活動のアイデアがあれば担任先生と分かち合しましょう。どうしたら生徒たちにより良い授業を経験させるか協力して話し合うといいでしょう。
- ティームティーチングにはコミュニケーションは重要です！ JTE/HRT と話す時間を作りましょう。
- 生徒指導はたいてい ALT の責任ではありません。 HRT/JTE が生徒との問題を解決するはずですよ。
- ALT（そして先生方）の態度は大事です！授業を盛り上げるためになるべく元気で英語を教えましょう！
- 楽しんで！面白いゲームを考えて！生徒の興味を引くような活動をしましょう。

